

川口グリーンセンターにおけるネイチャーゲームとネイチャークラフトづくり

田川 裕則

分野の今日的な概要

学校の教育の重点としている「好奇心」「意欲」を育てる。「コミュニケーション能力」を伸ばす。自然を教材として「感じる」「発見する」ことを大切にしながら、幅広い情報収集力、実践的な思考の育成。

分野を理解するキーワードとその説明

ネイチャーゲームを行なうことで、「自然や環境への理解」「五感によるさまざまな自然体験」「自然の美しさや面白さの発見」「他者への思いやりや生命を大切に作る心が育ち」「感受性が高まり」が図られます。

事例の概要

平成20年度より埼玉県川口市の川口グリーンセンターの林間教室（遊び工房）の参加者を対象として、9月から12月の4回を使ってネイチャーゲームやネイチャークラフトを行うことによって自然への気づきを学ぶことを目的とする。

事例の内容

●ねらい

- ① ネイチャーゲームにより自然に親しむ
- ② 林間教室に参加する親子のきずな
- ③ ネイチャークラフトをつくり自然に触れながらお土産ができる

●対象

川口市の広報を見たり、当日の案内放送を聞いて参加する親子

●実施アクティビティ

1回目	2回目	3回目	4回目
9月7日	10月5日	10月19日	12月7日
26名(15+11)	22名(12+10)	37名(22+15)	45名(30+15)
カモフラージュ 木のフィールドビンゴ カメラゲーム ネイチャークラフト (イーゼルと木の額)	木のセリフ 木の鼓動 木の詩	宝さがし ごちそうはどこだ たべようドングリ どんぐり屋台 (こま・笛・名札)	ノーズ 動物ヒントリー(絵) カモフラージュ ネイチャークラフト (松ぼっくりのツリ)

(川口グリーンセンター 林間教室) 川口市民の憩いの場、花とみどりの世界

●参加者の反応

- ◎虫たちはすごい。
- ◎こんな木とのふれあい方があったのかと改めて気づいた。
- ◎思ったより活動が楽しく、額縁制作にはまってしまった。
- ◎とてもよい体験ができました。また参加したいです。
- ◎自然の不思議を発見できました。

◎どんぐりを初めて食べましたおいしかった。クリみたい。また参加したいです

◎初めのイーゼル（額縁作り）がとてもよく、今も玄関に飾ってあります。その初めの印象がとてもよく、全部参加しようと思えました。（全回参加の保護者の方より）

☆実は参加者はみんなクラフト好きだなあと見ていて強く感じました～！

分野におけるネイチャーゲーム実践のポイントと留意点

当初はネイチャーゲームを楽しむことを主たるねらいとしていたが、その後、林間教室の周りにある木を触ったり、枝やどんぐりなどの自然の素材を使ってネイチャークラフトを取り入れながら、木に愛着を持ち、自然に親しみ、自然に気づくことをねらいとするようになった。

活動の評価

全4回じゃもったいないような気がしている。この公園（林間教室）に集まる参加者は親子共に自然に対する意識が高く、リピート率も高く食いつきもかなりよい。来年度はもう少し回数を増やしてもよいのではという意見も出た。

12月中に来年度のスケジュールを出し来年度は5回実施する予定。

今後の課題

地域の会の参加スタッフが少ないのもっとスタッフを広く募集する。

ネイチャーゲームを実施した前後の変化を評価できるようにしたい。

写真、プログラムシート



分野を学ぶための参考資料

「小学校学習指導要領」「ネイチャーゲーム」「小学校の授業に生きるネイチャーゲーム」